

かとうぜきかいらんぼん 可動堰回覧板

平成19年7月1日号 (No.24)
国土交通省北陸地方整備局
信濃川河川事務所大河津出張所
TEL 0256-97-2121
E-mail shinano@hrr.mlit.go.jp

回覧

今回は、堰本体工事の一時中断、現在の可動堰本体工事進捗状況などについて紹介します。

堰本体工事の一時中断について

可動堰の本体工事は、梅雨や台風などの大雨により洪水発生の危険性が高い時期(出水期)となるため、7月から9月末までの3ヶ月間は本体工事を一時中断します。



平成19年05月23日撮影

可動堰の本体工事は、6月末時点で左岸側2基分の堰柱等を支えるための基礎杭の打ち込み工事が完了し、均しコンクリートを施工しました。天候にも恵まれ順調に工事は進んでいます。

なお、本体工事は6月末で一旦中断しますが、下流部の低水路掘削工事や埋蔵文化財調査は大規模な工事設備も無く、洪水の危険性が予測された場合でも安全に河川から避難することができるため、7月以降も引き続き進めていきます。

土砂の運搬等でダンプトラックが国道116号や堤防道路を通行しますので引き続きご理解とご協力をお願いします。



基礎杭打ち込み、均しコンクリート施工状況

平成19年6月13日撮影

大河津資料館の講座開催報告

5月23日(水)に「大河津可動堰改築工事見学バスツアー」、6月9日(土)に「子供講座:親子川の生きもの探検隊!」を開催しました。

5月23日(水)大河津可動堰改築工事を見学するバスツアーを開催しました。

当日は、天候にも恵まれ24人の参加者と共に、現可動堰の管理橋をスタートし、工事現場の見学を経て、最後は分水路河口まで行くという、大河津分水の過去・現在・将来を考えるツアーとなりました。



現可動堰の管理橋にて。「近くで見ると意外と痛んでいるな。」と参加者の皆さん。



掘削現場にて。「今立っている場所は川になるのね?!」



分水路河口にて。「可動堰が新しくなるだけではダメなんだね。」

6月9日(土)「子供講座:親子川の生きもの探検隊!」を開催しました。

当日は、23人の方々が、大河津分水公園内の体験水路と洗堰の魚道観察室において、川の生きものを観察しました。オイカワ、ウグイ、スジエビをはじめ、この付近ではあまり見られないヤマメなど、全部で15種類を超える川の生きものを観察することができました。参加された方々は「身近にたくさんの生き物がいてビックリ!また、来たいです」と話されていました。



体験水路にて。びしょ濡れになっても、生き物を捕まえる表情は真剣!何が捕まったかな?



捕まえたギンブナを観察中。生きものの名前だけでなく、生息環境から考えられる川の状態なども一緒に勉強しました。



魚道観察室にて。指先の向こうに見えるのは?!

次回の可動堰工事現場などの見学会は、7月27日(金)に開催を予定しています。お申し込み、お問い合わせは信濃川大河津資料館までお願いします。(月曜日休館) Tel(0256)97-2195 尚、定員(20名)に達し次第締め切らせていただきます。

『可動堰なんでも電話』を開設し、みなさんからのご意見・ご質問などをお待ちしております。0258-32-3134 (平日 AM9:00~PM4:00)

工事や河川に関することはなんでも大河津出張所へ Tel 0256-97-2121(建設監督官在所)
大河津出張所 :大河津分水全般に関する工事監督・維持管理等
建設監督官(可動堰改築担当):大河津可動堰改築事業に関する工事監督等

信濃川河川事務所

<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/>

可動堰情報館

<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/kadouzeki/>

信濃川大河津資料館

<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/ohkouzu/index.html>